

# 2017年 年間テーマ

## 組織活性化コーチング実践編 ～人とチームの主体性を育てる～

### ①【8周年記念セミナーの実施】

セミナーのメインゲストとして、株式会社CUREの西河社長、鈴木統括医院長にご登壇いただき  
コーチングを取り入れたチームづくりや取り組み、その成果として離職率が30%→7%に減ったことなど大変インパクトのある発表をしていただきました。



### ② 年間テーマ「組織活性化コーチング実践編～

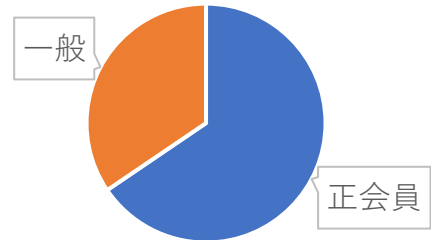
人とチームの主体性を育てる」として、8回の例会を実施しました。主体性とは自分で考え決めて行動し結果に責任を取る態度をいいますが、各例会で主体性を取り上げて学びの時間を持ちました。

## 【数字で見る活動】

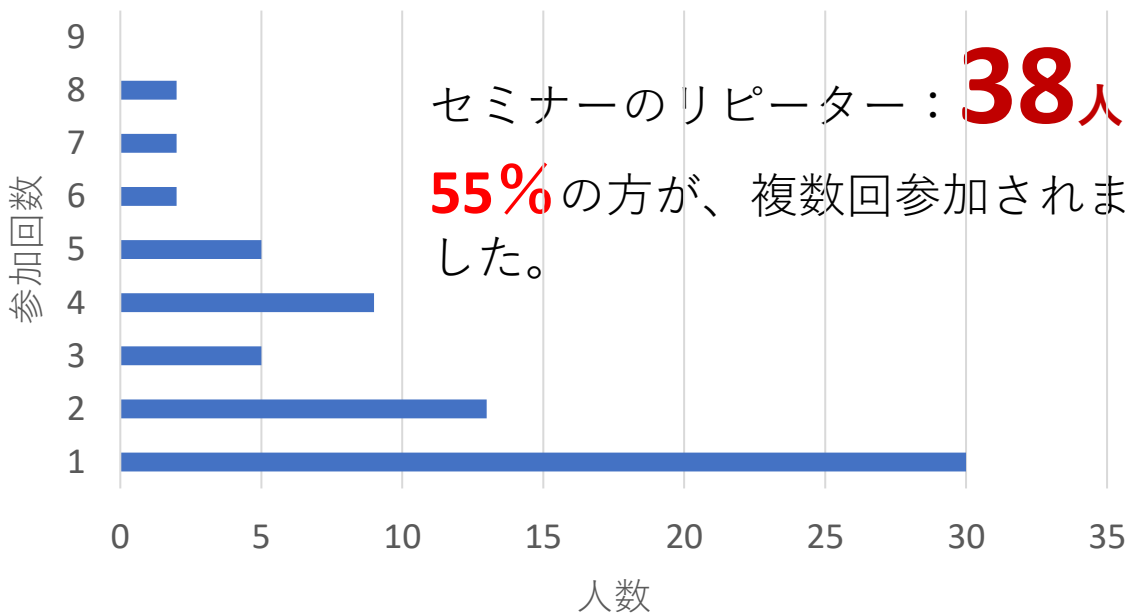
年間 **8** 回セミナーを実施。

延べ**174**名が参加。

参加者の内訳は右記。



2017年末時点での正会員数は**39**名



### 参加者の声(アンケート結果より、一部編集して掲載)

- ・「相乗効果」一人＋一人は5人でも10人にでもなる！
- ・大変充実した時間でした。現状を変えたく勇気を出して参加して良かったです。
- ・最も学びたいテーマだったので期待と共に参加しましたが、期待以上に価値あるものでした



## 2017年 日本コーチ協会京都チャプター例会

年間テーマ:「**組織活性化コーチング実践編～人とチームの主体性を育てる**」



- 組織(チーム)とは、共通目標を達成するために、メンバーの役割や機能がそれぞれ割り当てられている集団のことです。
- 主体性とは、自分で考え、決めて、行動し、結果に責任をとる態度をいいます。
- 成果を上げる考え方と行動をクライアントから引き出すためのコミュニケーション技法、コーチングをマスターします。

項目 日時	テーマ (講師)	内容 (該当する ICF のコアコンピテンシー)
1月22日 (日) 13:30-16:30	<b>主体性を育てるコーチング</b> (井上)	人やチームを育てるコーチングのキーワードは「主体性」。個人と組織の「当事者意識(アカウントビリティ)」を高めるコーチングの全体像を学びます。(ICF:自己責任の管理)
2月26日 (日) 13:30-16:30	<b>コーチングの技法1 傾聴で主体性を育てる</b> (高橋)	人や組織の主体性を育てるために、まずリーダーに求められるのは、部下と信頼関係を築くこと。そのための最重要技法である傾聴のスキルを学びます。(ICF:積極的傾聴)
3月26日 (日) 13:30-16:30	<b>コーチングの技法2 承認で主体性を育てる</b> (岡田)	主体性を育てる第一歩は、部下のモチベーションを上げることです。「ほめる」だけではない、コーチングにおける承認のスキルでモチベーションをあげるコツを学びます。(ICF:関係性を共に築く)
5月28日 (日) 13:30-16:30	<b>コーチングの技法3 質問で主体性を育てる</b> (戸田)	信頼関係が築けたら、コーチングで相手の中の「当事者意識」に少しずつ焦点を当てていきます。そのときに鍵となる質問の技法を実践的に学びます。(ICF:効果的な質問)
6月25日 (日) 13:30-16:30	<b>コーチングの技法4 フィードバックで主体性を育てる</b> (真辺)	当事者意識が高い人は、さまざまな人から常にフィードバックを求めています。主体性を育てるのに欠かせないフィードバックの技法と実践のコツを学びます。(ICF:率直なコミュニケーション)
7月23日 (日) 13:30-16:30	<b>ビジョンで主体性を育てる コーチング</b> (戸田)	部下の主体性を育てるためには、ビジョンを組織で共有することが必要です。魅力的で将来性のあるビジョンで、部下のヤル気を上げ、主体性を育てるコーチングを学びます(ICF:行動をデザインする)
9月24日 (日) 13:30-16:30	<b>コーチングで環境と時間の マネジメント</b> (山田)	職場で最初に当事者意識の成果を具体化できるのが、環境整備と時間のマネジメントです。コーチングで組織の時間と環境をマネジメントする方法を共に学びます。(ICF:行動計画とゴール設定)
10月22日 (日) 13:30-16:30	<b>コーチングで プレゼンス・マネジメント</b> (若狭)	「人は見た目が9割」といいます。人と組織の主体性を育てるために、リーダーが身に付けるべきプレゼンスを、コーチングを使って学びます。(ICF:コーチとしてのプレゼンスがある、他)
11月23日 (木祝) <b>10:00-</b> <b>16:30</b>	<b>8周年記念例会セミナー</b>	「人と組織の主体性を育む」ために何ができるか。職場等で組織活性の成果を得た事例の中からその法則性や条件を見出し、さらなる行動変容を目指します。(ICF:コーチとしてのプレゼンスがある)

予定内容を変更したセミナーもあります。